

令和 2 年 度

桶 川 市 財 政 健 全 化 及 び
経 営 健 全 化 審 査 意 見 書

桶 川 市 監 査 委 員

桶 監 第 17 号
令和 3 年 8 月 20 日

桶川市長 小 野 克 典 様

桶川市監査委員 榎 本 幸 雄

桶川市監査委員 江 森 誠 一

令和 2 年度桶川市健全化判断比率及び資金不足比率の審査意見に
ついて

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項
の規定により審査に付された令和 2 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金
不足比率について審査したので、次のとおり意見を提出する。

令和2年度桶川市財政健全化及び経営健全化審査意見

1 審査対象

- (1) 令和2年度 桶川市健全化判断比率
- (2) 令和2年度 桶川市公共下水道事業会計資金不足比率

2 審査日

令和3年8月5日

3 審査の方法

審査に付された健全化判断比率及び資金不足比率が、適正に作成されているかどうかを主眼として、算定の基礎となる事項を記載した書類等の照合及び関係職員の説明を聴取し、必要と認める審査を実施した。

4 審査の結果

(1) 健全化判断比率

ア 総合意見

審査に付された次表の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

(単位：%)

項目	令和2年度	令和元年度	早期健全化基準 (当年度)
① 実質赤字比率	—	—	12.80
② 連結実質赤字比率	—	—	17.80
③ 実質公債費比率	5.5	4.8	25.0
④ 将来負担比率	43.0	52.5	350.0

(注1) 比率は、標準財政規模に対する割合である。

(注2) 黒字の場合は、比率を「— (該当なし)」と表記した。

イ 個別意見

① 実質赤字比率について

当年度は、4.18%の黒字となっており、実質赤字比率については該当せず、良好な状態にあると認められる。

② 連結実質赤字比率について

当年度は、6.33%の黒字となっており、連結実質赤字比率については該当せず、良好な状態にあると認められる。

③ 実質公債費比率について

当年度は、5.5%となっており、前年度と比較して0.7ポイント増加したが、早期健全化基準の25.0%と比較すると、良好な状態にあると認められる。

④ 将来負担比率について

当年度は、43.0%となっており、前年度と比較して9.5ポイントの減少で、早期健全化基準の350.0%と比較すると、良好な状態にあると認められる。

ウ 是正改善を要する事項

各比率については、いずれも国の示す基準の範囲内にあり、良好な状態にあると認められるものの、今後、少子高齢化の進展による税収減や社会保障関連費用の増加、ハード事業の推進などにより厳しい財政状況が見込まれることから、歳入面では引き続き市税等の自主財源の確保に努めるとともに、国・県の補助制度の積極的な活用をされたい。

また、引き続き将来負担を勘案した行財政運営を行い、持続可能な財政基盤の構築に向け取り組まれたい。

(2) 資金不足比率

ア 総合意見

審査に付された次表の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

(単位：%)

項目	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0

イ 個別意見

当年度は、4.21%の黒字で実質的な資金不足は生じておらず、良好な状態にあると認められる。

ウ 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。